

歴史と伝説の里で文学に触れませんか？

# きなす「文学の道」めぐり 第一章

鬼無里の特産品の麻をうたった「万葉の歌碑」

遷都伝説と鬼女紅葉伝説の悲しい物語「<sup>つきよ</sup>月夜の陵<sup>はか</sup>」



<sup>ふぼく</sup>夫木和歌抄<sup>しょう</sup>におさめられた「<sup>うらみ</sup>浦見の山」

文豪 川端康成の「文学碑」



**日 時** 7月23日(木) 午前8時50分

**集合場所** 鬼無里ふるさと資料館

**日 程**

鬼無里ふるさと資料館		9時00時
↓		
奥裾花ダム	「浦見の山」歌碑	9時15分～9時30分
↓		
内裏屋敷跡	「月夜の陵」詩碑	9時45分～10時00分
↓		
松巖寺	「川端康成」文学碑 松巖寺見学	10時15分～10時45分
↓		
鬼無里ふるさと資料館	「万葉」歌碑 資料館見学	10時50分～11時50分
解散		12時00分

**参加費** 2,000円

お申し込み・お問い合わせ先

〒381-4302 長野市鬼無里日影 2750-1 鬼無里支所内

鬼無里イヤー実行委員会事務局

電話 026-256-2213 番

おでやれとは「どうぞおいでくださいませ」という意味の鬼無里地方の方言です